

ゴッパカワ

広報



シンボルマーク

平成11年

8.1

No.932

人口と世帯

6月30日現在 () 内は前回比、男23,992(+11) 女26,765(+10) 計50,757(+21) 世帯18,142(+28)



乱舞

次代へ受け継がれよこの熱い伝統

五所川原高等学校立佞武多「不動明王」運行

五高立佞武多

人波をかき分け 一足先に出陣

五所川原高等学校（倉倉宏太校長）創立七十周年を記念して、生徒達を中心となって製作した立佞武多「不動明王」が、七月九日運行され、コースとなった駅前から旧ロータリーは若者の熱気につつまれました。

奇贈され、「親子の旅立ち」「鬼が来た」とともに夏まつりでも運行されます。

わたしが取材した

立佞武多

五所川原高等学校放送部

二年 岩崎 恵

「立佞武多の製作を学校の新しい伝統にしたい」と実行委員会が組織され、四月から製作を開始。毎日、夜遅くまで製作に励みまし

無理だと思った。いくら七十周年記念だからといって、いくら大きなことをしたいからといって、立佞武多を製作するのは無理だと思った。立佞武多実行委員会の友達から話を聞いていたが、いつも言うことは決まっていた。「人手が足りない」「もう絶対間に合わない」そればかりだった。



「ねぶたの表情を決める目入れ作業」

しかし運行当日、会場には自分の目を疑いたくなるくらい見事な立佞武多がそびえ立っていた。神々しくて、力強く、何事にも動じないようなまさに「不動明王」。この立佞武多には、わたしの知らない製作の苦しみとか、楽しさとか、感動とか、いろんな人のいろんな想いが込められているのだろうなあと思った。

悪かったけれど、だんだん盛り上がり、学年を越え、すべてのものを越え、「五所川原高校」が一体となった。少人数だったハネトも道を埋め尽くすほどになり、いよいよクライマックス。先生が何度終わりだと言っても、一向に止めようとしなかった。そればかりかますます盛り上がっていくばかりだった。終わりの合図が鳴り響いた。生徒会長が泣いていた、長い間立佞武多製作に携わってきた長野賢司先生も泣いていた。その場にいた誰もが、この瞬間を終わらせまいとしていた。

前例のない立佞武多製作。前例を作ったこの年に、五所川原高校の生徒であることをとても誇りに思う。みんなの心にも、何事にも動じない「不動明王」がいつまでも残っているに違いない。



議会

平成十一年度 第五回臨時議会

平成十一年五所川原市議会第五回臨時議会が、七月十九日に開催され、強風で屋根に被害が出た広田市営住宅の復旧工事費計上のため専決処分した今年度の一般会計補

正予算を承認、議会推薦農業委員五人を推薦し閉会しました。

承認された議案

▽専決処分の承認を求めることについて（平成十一年度五所川原市一般会計補正予算）
・一般会計は、一千八百万円増額して総額二百六億七千三百二十三万九千円に。

元気なまちづくり地域集会 市内十三カ所で開催

七月六日から十四日まで市内十三カ所で「元気なまちづくり地域集会」が行われ、成田市長はじめ、菊池助役、山田収入役、岩見教育長のほか各部課長が出席し、参加者からは、意見・要望等が寄せられました。



同集会は誰もが誇れる五所川原、住んで良かったと思える五所川原を作るため市民からの要望を市政に反映させようと毎年開催しているもので、各会場では、道路や排水路の整備など生活に密着した身近な問題や市の方向性など多岐にわたって質問され、それら一つひとつに市長や関係職員が答弁していました。

津軽藩士の御霊よ永遠なれ

斜里町 津軽藩士殉難慰霊祭に参加

五所川原市と斜里市のかかわりは、藩政時代までさかのぼります。一八〇七年（文化四年）、北方警備のため斜里に派遣された津軽藩士百二人のうち七十二人が一冬で病死しました。この中に飯詰村二人、広田村、中泉村それぞれ一人ずつ計四人の本市出身者が含まれています。

しかし、この出来事は幕命のため津軽藩の秘め事として歴史の裏側に封じ込められてきましたが、生き残った青年武士斎藤勝利が書き残した「松前詰合日記」が発見され、斜里町はこの事件の史実解明とともに同町に津軽藩士の殉難慰霊碑を建立し、毎年七月十六日に、津軽藩士の御霊を祈るため慰霊祭を行っています。二十七回目となった今年の津軽藩士殉難慰霊祭には、本市から菊池富美雄助役、市議会からは大野欽也副議長、観光振興対策特別委員会委員の六議員が参加し冥福を祈りました。

弘前市と斜里町は昭和五十八年に友好都市の盟約調印を交わし弘前ねぶたを斜里に出陣させるなど各分野で交流を続けています。



斜里町：

北海道の東北端に位置し、人口約一万六千人。斜里の歴史が始まったのは一七七五年。本格的には一八七九年、戸長役場が設置されてから町づくりが始まった。農業は、ばれいしょ、ピート、小麦が栽培され北限の水田地帯でもある。また、年間観光客百七十万人が訪れる知床国立公園が地域経済を支えている。



表敬訪問した一行に午来昌町長は、津軽藩士のことを「稚内から十二日間かけて歩いてきたんですよ。寒くて耐えられなかったの

でしょうね。地元の人との付き合いを拒めなければ亡くなる人も少なくなっただけでは」と感慨深げに話したのを受け、菊池助役は「津軽のじよっぱり根性が出たのでしよう。何も知らない所で亡くなるのは大変無念だったのでしよう」と思いを語るとともに「これからも弘前市と同様にお付き合いください」と話し、また午来町長は「昨年五所川原に行って立佞武多を見て来たんですよ。随分大きいですね。作るのに大変苦労したんでしょう」と今後の友好を深めるための話しはいつまでもつきませんでした。



懇談する菊池助役と午来斜里市長(左)

善意の花かご

「どうもありがとう
ございました」



- ◎五所川原市社会福祉協議会へ
- 県立五所川原高等学校JRC部（太田亜矢子部長）
- 文化祭時益金の一部として四千六百四十五円。
- 津軽金山焼窯業協同組合（毛内秀登理事長）
- チャリティーオークション売上の一部五万二千百十五円。
- 社会福祉法人若菜会特別養護老人ホームあかね荘（木村良悦園長）
- 飛島のぶ前園長の意志により寄付（二十万円）。
- ◎市立養護老人ホームくるみ園へ
- 広田保育員（渡邊建道代表）
- 慰問（園児による遊戯、楽器演奏）
- 市生保護婦人部（斎藤千恵子代表）
- 慰問（歌、踊り）、寄贈（ジュース二箱）。
- 藻川民謡むつみ会（外崎武男代表）
- 慰問（歌、踊り）、寄贈（ジュース二箱）
- 飯詰小学校（伊藤功校長）
- 児童二十三人
- 慰問（歌、踊り、折り紙作り）。

簡素で効率的な 行政システムの確立を目指して

五所川原市行政改革大綱を改定



価値観の多様化、地方分権の推進等、地方公共団体はその自主性・自立性の高まりと地域の特性を十分活かした主体的な地域づくりが求められております。

こうした変化に対応するため、五所川原市行政改革大綱を改定しましたので、分かりやすく抜粋してご紹介します。

行政改革の趣旨

当市における行政改革の推進については、平成七年十二月に「五所川原市行政改革大綱」(以下「大綱」という。)を策定し、概ね三ヶ年において取り組む主たる課題を設け、行政改革の推進に取り組んできました。

大綱策定から、既に三年が経過した今日、本格的な少子・高齢社会の到来、価値観の多様化、環境問題に対する関心の高まり等、さらに、インターネットの爆発的な普及による世界的規模の高度情報化など、社会の潮流は人々の意識や行動に大きな影響を与え、個々の自立の重視、地域社会への参加といった新たな意識を生み出しています。

このような状況の下、地方分権はいよいよ実施の段階を迎えるに至り、地方公共団体においては自らの責任において、社会経済情勢の変化に柔軟かつ弾力的に対応できるような体質を強化し、住民福祉の向上と個性的で活力ある地域社会の構築を図っていくことが求められています。このため、事務事業の簡素効率化・総合化、必置規

制の改廃等に対応した組織管理・職員配置、政策形成能力豊かな人材育成等、より一層の行政サービスと総合的な施策展開を実施することが期待されております。

これらに対応するため、平成十一年度から平成十三年度までの概ね三ヶ年において取り組む主たる課題を内容として改定いたしました。

行政改革を進める視点

市民の参加と協力のもとに、「活力ある元気なまち五所川原」を目指し、地方分権にふさわしい新たな行政システム確立に向け、次の視点から行政改革に取り組みます。

①市民のための市政

「市民あつての市政」を基本に公正、透明な開かれた市政を推進し市民が理解しやすいように工夫を講じ積極的に広報するとともに市民の意見ができる限り反映されるよう市民参加型の市政を目指します。

②簡素・効率化

厳しい財政環境の下、最小の経費で最大の効果があがるよう、コスト意識、経営感覚の視点に留意

し、行財政システムの簡素・効率化を図ります。

③時代変化への対応

本格的な少子・高齢社会の到来や国際化・高度情報化の進展、環境問題の顕在化などの社会経済情勢の変化に対応しつつ、市政の抱える重要課題に的確かつ機敏に対応するため、時代の変化に応じた行財政システム確立の見直しを進めます。

④「活力ある元気なまち五所川原」を発揮できる基盤づくり

自然、歴史、文化等の固有の資源を活用し、「活力ある元気なまち五所川原」を切り拓いていくための、総合的な施策展開の基盤づくりを進めます。

開かれた、わかりやすい 市政の推進

(1) 情報公開の推進

○開かれた市政を一層推進するため、情報公開制度を平成十二年四月一日から施行することとし情報公開の総合的な推進に関する調査研究を進めます。

○個人情報情報の適正な取り扱いの確保及び個人の権利、利益の保護を図るため、五所川原市個人情報保護制度確立のための調査、研究を進めます。

(2) 行政手続制度の円滑な運用
○ 地方分権の推進により、国、県および市町村の事務の再編・整備が行われることを踏まえ、審査基準、処分基準、及び標準処理期間について、行政手続法及び五所川原市行政手続条例の趣旨が十分活かされるよう、事務手続きの見直しを行います。

市民の立場に立った 市政の推進

(1) 規制緩和

○ 申請、届出等に係る押印について、そのあり方を見直し、廃止を含めた合理化を推進します。

(2) 窓口サービスの向上

○ 「窓口サービス向上の実施要領」を作成し、窓口業務における職員の接遇等に関して周知徹底を図り、市民から意見等が出された窓口については、その内容について検討の上、接遇等の向上を図ります。

(3) 相談窓口の機能強化

○ 各種相談の機能強化について検討します。

(4) 公共施設についての 利便性の向上

○ 公共施設については、開館時間等を見直し、市民の利便性の向上を図るよう検討します。

(5) 高齢者、障害者等に やさしい環境づくり

○ 高齢者、障害者など日常生活に制限を受ける人々が円滑に利用できる公共的な施設や交通機関の整備を促進し、すべての人々が自由に、安心して、積極的に社会参加が出来るよう「五所川原市障害者計画」を策定します。

行政システム の改革

(1) 事務事業の見直し

① 事務事業の整理合理化
○ 社会・経済情勢の急激な変化に的確に対応するため、前例、慣例にとらわれず、行政の責任領域を改めて見直し、行政関与の必要性、受益と負担の公平確保や行政効率、効果等を十分吟味して、一層の事務事業の整理合理化を図ります。

○ 既に計画し、または着手した事業等であっても、必要性、効果等を十分勘案してその推進について判断します。

○ 住民からの複雑多様化する行政需要や、新たな行政課題を的確に把握し、地方公共団体として実施すべき施策の選択や重点化を図ります。

○ 住民へのサービス提供や施策の実施に当たっては、できる限り組織相互間の横断的な調整を行い、事務事業が総合的に実施されるよう努めます。

○ 職員参加による明確な目標設定と効率的な進行管理の徹底、小集団活動や提案制度の活用等、民間の手法を導入・応用することにより、実情に応じた行政運営プロセスの改善に努めます。

(2) 民間委託等の推進

○ 行政運営の効率化を図るため、行政責任の確保、住民サービスの維持向上等に留意しながら、民間委託等の実施が適当な事業については、地域の実情に応じ積極的かつ計画的に民間委託等を推進します。

(3) 市費単独補助金の整理合理化

○ 補助金等について、行政の責任分野、経費負担の在り方、行政効果等を精査のうえ、廃止、統合、メニュー化等により抜本的な整理合理化に努めます。

○ 補助金等について終期の設定や不断の見直しを行うと伴に、削減計画を策定するなど、計画的に補助金総額の抑制に努めます。

(2) 組織・機構の見直し

○ 組織・機構の見直しに当たっては、今後の国における省庁再編成等の動向にも留意しつつ、ス

クラブ・アンド・ビルドを徹底するとともに、従来のあり方にとらわれることなく、簡素で効率的な組織・機構の構築を図ります。

○ 二十一世紀に向け「活力ある元気なまち五所川原」を目指し、中心市街地の活性化を図るため企画課内に中心市街地対策室を設けるなど、総合的な施策展開の基盤づくりの推進を図ります。

○ 出先機関、各種審議会等についても、地域の実情等に応じた見直しを図ります。

(3) 定員管理及び給与の適正化

○ 新規の行政需要に対しては、職員の配置転換によって対応するなど定員管理の適正化の推進を図ります。

○ 職員の給与については、給与水準の是正、給与制度及びその運用の適正化を今後とも推進します。

(4) 人材育成の推進

○ 職員の能力開発を効果的に推進するため、目的、方策等を明確にした人材育成に関する方針を策定します。

○ ジョブ・ローテーションを通じて様々な職場をバランスよく経験することで、視野や知識、技術を幅広く深いものとしスキルアップを図るとともに、職員の

意欲を促すような人事管理を推進します。

○ 職員の自発性を重視した能力を有効に活用することで、組織の活性化及び効率的な行政運営が促進されるよう、異動希望（自己申告制度）を今後も推進していきます。

(5) 保健・医療・福祉の連携の強化

○ 本格的な高齢社会に備えるため保健、医療、福祉が一体となった第二次五所川原市老人保健福祉計画・介護保険事業計画を平成十一年度中に策定し、連携の一層の強化を図ります。

地方分権に対応した 体制の整備

広域行政の推進

○ 交通網の著しい発達に伴う日常生活圏の拡大と、厳しい財政状況下での、効率的な行政運営が求められている今日、広域的な行政ニーズはますます増大しています。

○ このため、広域市町村圏内の市町村が連携し、平成十一年三月に「つがる西北五広域連合」を設立したところであり、今後、この組織の強化と、広域圏における地域振興策の充実を図っていきます。

五所川原地区消防事務組合 行政改革大綱を策定

五所川原地区消防事務組合では、近年複雑多様化する行政需要に対応するとともに、財政の健全化を図るために「五所川原地区消防事務組合行政改革大綱」を定めました。行政改革大綱とは、組織の簡素合理化、事務の効率化、職員数及び給与の適正化などについての改革を進めるための指針です。
今回は、五所川原地区消防事務組合行政改革大綱を抜粋して掲載します。

五所川原地区消防事務組合行政改革大綱 平成十一年七月一日五所川原地区消防事務組合告示第十号

基本方針

五所川原地区消防事務組合の行政改革は、近年の社会環境の変化と産業の複雑化、住民生活の多様化、高齢社会への進展等によりきめ細かな対応が求められており、また災害の態様も複雑多様化、大規模化の様相を呈し、消防行政に對する期待はますます増大しております。このような地域住民の期待と多様なニーズに対し、消防体制の改善、各種施策の充実強化等を図るため行政改革を推進します。
また行政改革の推進に当たって

作成、住民へのサービス提供、消防車両及び消防団施設の配置計画、応急手当の普及啓発等に重点を置き積極的に推進します。

組合の実施する許認可等の行政手続きの簡素化について、実施可能なものについては、所属ごとに見直しを図るほか、住民サービスの観点から処理日数の短縮化を図ります。さらに補助金等については、行政の責任分野、経費負担の在り方、行政効果等を精査のうえ廃止、統合等により抜本的な整理合理化を図ります。

(2) 組織・機構の見直し

消防行政に対する需要と事務事業とについて、その重要度、緊急度、投資的効果を考慮した体制の構築を図るとともに、消防署の出勤体制を見直し、効率的な出勤体制とし、既存の組織・機構にとらわれないことと最小限の人員と経費で最大の効果を上げるよう見直しを行います。

(3) 定員管理及び給与の適正化の推進

火災の予防、警戒及び鎮圧並びに救急業務を実施するために必要な最小限度の施設及び人員について定められた「消防力の基準」に基づき現有の消防力から算出された当組合の職員数は百四十五人で

ありますが、現在二十三名の不足となっており最小限の人員について更に調査研究を実施し、定員管理について見直しを行うほか職員各階級ごとの定数の見直しを図り、計画的な人事管理を実施します。また、職員の給与については、給与決定の根本基準である職務給の原則、均衡の原則に基づき、人事院勧告を尊重するとともに、地域住民の理解を得られるよう適正化を推進するほか、社会経済情勢の変化に合わせ、諸手当について適切な見直しを推進します。

(4) 人材の育成・確保

人材育成のため職場内における研修の実施強化を図るほか、組合内部での職場研修を計画し定期的に実施できるようにします。また消防学校、消防大学校等における計画的な研修制度を確立するほか、救急救命士を長期間の養成計画により効率的に養成します。

(5) 行政の情報化の推進等による行政サービスの向上

現在構成市町の広報により行っている情報提供を今後は更に向上させ、地域に合った情報提供を推進します。また、組合の財政計画、予算、決算等の主要な情報を住民に積極的に提供していきます。

(6) 公正の確保と透明性の向上

構成市町の行政手続き条例の施行を視野に入れながら、今後の運用について調査研究に努めるほか、構成市町の情報公開制度に基づき、その実態を踏まえながら適正な情報管理に努めます。また、適正で効率的な行政運営を図るため、監査制度の見直しを図る等、監査機能の強化を積極的に推進します。

(7) 経費の節減合理化等財政の健全化の推進

国においては財政構造改革の集中改革期間として徹底した取り組みを進めており、組合においても経費全般について徹底的な見直しを図り、その節減合理化を図るとともに予算の厳正な執行を図ります。

(8) 広域行政の推進

国の消防行政の広域化に対応した再編を視野に入れながらその実現を目指して、隣接消防本部との連携を積極的に推進し広域化を進めることにより消防の体力強化を推進します。

(9) 計画行政の確立

消防車両等について、組合の長期的な整備計画を策定し、円滑な事業の推進を図ります。

行政改革推進事項

(1) 事務事業の見直し

社会経済情勢の変化に対応し効率的な事務事業の実施を図るため、事務手続き等の簡素化、効率化を進めます。

また、給与支払い事務、予防査察の適正化、各所属の事務事業の整理合理化、各年度の重点目標の

シ リ ー ス 介 護 保 険

もっと知りたい介護保険

Q & A

Q 要介護申請から認定までの間に受けた介護費用は、どんな形で支払いをするのですか？

A 認定される前に介護サービスを利用したときは、とりあえず全額を自己負担することになります。その後、認定された要介護度に応じて払戻しされます。

Q 要介護申請をしたら自立と認定されました。状態が変化したらまた申請してもいいのですか？

A もちろん何度でも申請できますし、申請から認定までの費用は無料です。

Q 要介護度が決まっても、状態が変化したときはどうすればいいのですか？

A 通常要介護認定は6ヵ月間有効ですが、状態に変化があった場合は要介護状態区分の変更申請をすることができます。

Q 介護サービスを受けていて、医療が必要になったらどうすればいいのですか？

A 介護保険の給付を受けながら必要な医療サービスを受けることもできます。

在宅では、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリ等が介護保険から給付されます。施設に入所している場合は、介護保険対象外の医療行為については、一般病棟やほかの医療機関で必要な医療を受けることになります。

Q 要介護認定され介護サービスを受けていますが、サービス内容の変更はできますか。それとも次回の認定まで我慢しなければならないのですか？

A 介護保険で受けたサービス内容が悪かったり、約束どおりの内容でなかったりすれば、変更できます。介護支援専門員（ケアマネージャー）に介護サービス計画（ケアプラン）を変更してもらうことが必要となります。



※サービス計画の作成には利用者負担はありません。

Q 要介護認定を受ければ、市外の介護保険施設を利用することができますか？

A 施設サービスは全国どこでも受けられます。

◇ 知りたいこと疑問に思っていることはありませんか ◇

介護保険制度について、疑問点や知りたいことがありますか。広報を通じてお答えしますのでお問い合わせをお待ちしています。

送付先 〒037-8686

五所川原市役所 介護保険課「もっと知りたい介護保険Q&A」係

問い合わせ先 介護保険課 内線272・273

五所川原甚句盆踊り大会

▷ 8月16日(月)～17日(火)

19時～21時

▷ エルムの街ショッピングセンター駐車場

五所川原甚句保存会事務局 ☎35-1422・千葉

▷ 種目 五所川原甚句・津軽甚句

▷ 団体 (1団体5人以上) に交通費を支給

▷ 踊り参加者全員に粗品プレゼント

Information 8月お知らせ

し込みの方(200名)には、特製「立佞武多テレホンカード」をプレゼントいたします。
この機会に、便利で確実な口座振替を是非ご利用ください。

**平成11年度
自衛官募集案内**
自衛隊青森地方連絡部五所川原募集事務所 ☎(35)2305

〔航空学生〕

- ・受付期間 8月2日(月)～9月10日(金)
- ・試験日 9月23日(木)
- ・受験資格 高卒(見込み)で21歳未満の者

〔一般曹候補学生〕

- ・受付期間 8月2日(月)～9月10日(金)
- ・試験日 9月18日(土) 午後
- ・受験資格 18歳以上24歳未満の者

〔曹候補士〕

- ・受付期間 8月2日(月)～9月10日(金)
- ・試験日 9月18日(土) 午前
- ・受験資格 18歳以上27歳未満の者

〔2等陸・海・空士男子〕

- ・受付期間 8月2日(月)～9月17日(金)
- ・試験日 9月30日(木)・10月1日(金)

国民年金
口座振替キャンペーン
国保年金課 国民年金係
内線2111・2113
お仕事が忙しくてなかなか金融機関に行けなかったり、うっかり納め忘れてしまったなど、今まで毎月納めるのが大変だった国民年金保険料も、口座振替なら一度のお申し込みで、後は自動的に納められます。
口座振替の手続きは、金融機関に納付書と通帳並びに印かんを持参するだけで簡単にできます。また、8月1日より口座振替新規申

- ・受験資格 18歳以上27歳未満の男子
- 〔2等陸・海・空士女子〕
- ・受付期間 8月2日(月)～9月10日(金)
- ・試験日 9月27日(月)・28日(火)
- ・受験資格 18歳以上27歳未満の女子

飼い主の皆さんへ
ペットのフンの
後始末を！
環境対策課 内線231

この度の地域集会で、「犬の散歩時に放置されるフンが多く、処理にホトホト困っている」とのご意見が各地でございました。ペットを飼っている方は、責任をもってフンを処理してくださいようお願いいたします。
また、猫の放し飼いについてもし尿等についての意見がありましたので、ご協力ください。



平成11年度
五所川原立佞武多 一火と虫の祭典

行事日程表			
月日(曜日)	時日	主力行事	場所
8/3(火)	13:00	「五所川原立佞武多一火と虫の祭典」開会式	日通駐車場
	14:00	虫おくり運行	市内一円
	18:20	虫送り火まつり	駅前～岩木河原
	19:30	第50回花火大会	岩木河原
8/4(水) ～ 8/8(日)	19:00	立佞武多運行	市内一円
	19:00	ねぶた運行	市内一円

問い合わせ先 五所川原商工会議所内
まつり実行本部 ☎38-1020



青森県消費生活センター

移動相談

青森県消費生活センター
☎0177(22)3338

商工観光課 内線394

県の消費生活相談員が、消費生活に関する苦情相談に応じます。個人のプライバシーは厳守いたしますので、安心してご相談ください。当日は電話での受付もいたします。

●毎月第3木曜日 10時～15時
(今月は8月19日)

産経会館 B会議室

◇電話 (35)2111 内線584

◇相談料 無料

パソコン 技術講習会

市働く婦人の家内 青森県女性就業援助センター五所川原相談所
☎(35)8898

女性の求職者に対し、就業に必要な技術等の講習を実施し、就業の援助を図ります。

●8月30日(月)～10月14日(木)の月

水・金曜日 21日間

9時30分～15時30分

青森職業能力開発短期大学校

◇応募資格 パソコン操作とワープロソフト「一太郎」を学び、

ワープロ検定3級取得を目指し、就業を希望する45歳までの女性で、全日程を出席できる方。

◇募集人員 20名

※応募者多数の場合は抽選。

◇受講料 無料(ただし、教材費3500円)

◇持参するもの

ノート、筆記用具

◇申込期間 8月9日(月)～11日(水) 9時～15時30分

◇申込方法 五所川原相談所へ直接お越しください。

あおもり県民カレッジ あおもり学講座 受講生募集

鯉ヶ沢町教育委員会生涯学習課
☎(72)2111 内線425

ふるさと再発見

PART3

青森県の歴史、文化、経済等について学習します。演題は「ヒューマンネットワーク縄文人」「メディアから見た観光と文化」など多彩な内容でお待ちしております。

●9月2日(木)～10月14日(木)の毎週

(水曜日から木曜日)

19時～21時

日本海拠点館・あじがさわ

◇対象 あおもり県民カレッジ

学生及び一般県民

◇募集人員 70人

※定員になり次第締め切ります

◇受講料 無料

◇単位 5回以上出席すると終了証書が与えられます。また、あおもり県民カレッジ学生には14単位が与えられます。

◇申込方法 電話受付

こころの相談日

五所川原保健所予防課
☎(34)2108

次のようなお悩みをお持ちの方は、お気軽にご相談ください。

- ・閉じこもる
- ・夜眠れない
- ・ゆううつ
- ・ノイローゼ気味
- ・家族や職場の人間関係がうまくいかないなど

【一般精神保健福祉相談】

●8月17日(火) 13時～14時

五所川原保健所

◇相談担当 精神科医

8月31日(火)は
市県民税 第2期
国民健康保険税 第2期
の納期限です

お手元の納付書を確認し、期限内に納めましょう。

長者森墓地への臨時バスを運行します

今年もお盆期間中、お墓参りをする方々のために、市の臨時バスを運行します。

◇料金 営業所より 350円
駅前より 330円
松島団地より 220円

月日	営業所発	駅前発	松島団地発	墓地着	墓地発
8/13(金)	11:00	11:15	11:25	11:40	12:10
	14:00	14:15	14:25	14:40	15:10
8/14(土)	16:00	16:15	16:25	16:40	17:10
8/15(日)	16:00	16:15	16:25	16:40	17:10
8/20(金)	14:00	14:15	14:25	14:40	15:10

◇運行経路(各停留所停車)
営業所—駅前—松島団地—墓地

都市計画課 内線323

オルテンシア8月の催し物案内
ふるさと交流圏民センター TEL(33)2111

	日	曜日	催し物	開演	入場料
小ホール	7	土	中里音楽教室ピアノ発表会	13:00	—
	19	木	平成11年度 甲種防火管理講習会	9:15	—
	20	金			
1ホール	21	土	第11回ピアノ発表会	13:00	—
	27	金	あおもり文化講演会	18:30	無料
大ホール	8	日	五所川原フレッシュ コンサート	14:00	前売 500円
	15	日	青森県歌謡選手権大会	12:00	前売 800円 当日 1,000円
	20	金	津軽ひろ子歌謡ショー	14:00 18:30	無料

身体障害者

相談員について

市福祉事務所 高齢福祉課
内線540・541

県では、身体障害者が日常の苦情、意見、要望などを気軽に相談できる身体障害者相談員を次のとおり配置しています。

相談は無料で、秘密は厳守しますので、安心してご相談ください。

市内川端町6
松本 一 男さん
TEL (35) 6915

市内鳥森39-52
葛西 みつさん
TEL (33) 0272

市内藻川字中島24-2
畑山 正栄さん
TEL (36) 2142

市内唐笠柳字皆瀬18-12
柳原 一二さん
TEL (35) 2918

市内若葉一丁目9-5
川村 慧子さん
TEL (35) 7554

市内柳町9
平山 新三郎さん
TEL (35) 1259

市内みどり町八丁目74
本荘 栄造さん
TEL (34) 8261

消防署からの お知らせ

消防本部予防課
☎(35)2019 内線25・42

消火器の

訪問点検にご注意を!



消火器の不適正な点検や高額請求の被害が各地で多発しています。
◇トラブル防止のポイント

- ・身分証明等の提示を求める
- ・はつきりと点検を拒絶する
- ・契約書に印かんを押さない

**第2回 夏休み
こども科学教室**
市教育委員会 生涯学習課
内線555

●8月19日(木) 13時~15時
市中央公民館 3階調理室
◇対象
小学4年生から中学3年生
◇募集人員 約40名

◇講師 弘前大学理工学部
須藤新一教授

◇実験内容

- ・2種類の溶液を使ってナイロンを作る。
- ・クリップをモデルにして、簡単な実験を行う。

◇申込方法 電話受付

◇申込締切 8月10日(火)

Uターンフェア

in 津軽開催

五所川原公共職業安定所
☎(34)3171

現在、県外で働いている方で、将来は自分のふるさと青森県内で働きたいと考えている方々を対象に、地元企業との就職相談・面接会を開催します。

●8月12日(木) 13時~16時
ホテルニューキャッスル
3階「麗峰の間」(弘前市内)

**平成11年度
がんばれ「あおもりの
商店街」提言募集**
青森県明日の商店街づくり
事業実行委員会事務局
☎0177(34)9374

県民の皆様から、商店街に対する提言・意見を募集します。明日の商店街づくりのための具体的な

提言、アイデア、意見を自由に書いてください。

◇応募資格 個人又はグループ (年齢は問いません)

◇募集作品の様式
400字詰め原稿用紙で5枚以内で論文、感想文等、形式は自由ですが、未発表のものに限り

◇応募締切 8月31日(火)

※作品には、住所、氏名、電話番号を記載してください。また、作品の返還はいたしません。

◇応募先

青森明日の商店街づくり事業実行委員会事務局
青森市長島1丁目1-1 青森
県経営振興課内
FAX 0177(34)8107

◆その他 応募作品は電子メールでも受け付けいたします。詳しくはお電話にてお問い合わせください。

**難病患者医療
相談のお知らせ**
五所川原保健所予防課
☎(34)2108

●8月27日(金)
受付時間 14時~14時30分
市働く婦人の家・保健センター
◇相談担当医師
あおもり協立病院内科医長

◇対象者

柏村 英明 先生
・パーキンソン病、重症筋無力症など神経難病の患者及び家族。
・日頃、手足のしびれや震え、転びやすい、ちよこちよこ歩き、細かい動作ができにくい等の症状で困っている方。

◇申込締切 8月20日(金)

◇申込方法 電話受付

◇相談料 無料

◇その他 服薬されている方は、薬を持参してください。

交通安全は家庭から

交通事故概要

(平成11年7月20日現在)

	青森県内	五所川原警察署管内
発生	4,379 (+61)	186 (+2)
死者	56 (-12)	4 (0)
傷者	5,260 (+94)	233 (+13)

五所川原市交通安全対策協議会
五所川原警察署
毎月1日は、県民交通安全の日

市民サロン

第3回 国際交流会

五所川原市国際交流市民の会

〒(35)8121・浅見

ゲストに外国の方々をお招きしての交流会です。どなたでも参加できます。

●8月22日(日) 13時～18時30分

津軽金山焼窯業組合

◇会費 1500円

※小学生以下は無料で、陶芸教室参加者は別途500円が必要です。

◇内容 陶芸や食事、コンガ演奏(ダッチ増岡さんの演奏)を聞きながらの交流です。

8月の歩いっぺ会

五所川原歩け歩きの会

〒(35)1666

●8月8日(日)

中央公民館前 8時30分集合

8時40分出発

15時30分頃帰着予定

◇コース 狼野長根公園片道14km

※ゴールにて昼食後、現地解散。

◇参加費 無料

◇持参するもの

昼食、水、敷物、雨具など



健康相談

◇内容

心の相談、病気の相談、血圧測定等、保健婦が相談に応じます。

◇持参するもの

健康手帳(お持ちの方)

各地区での

身も心もさっぱりする健康相談

●8月10日(火)

浅井公民館 10時30分～12時

●8月18日(水)

13時～14時30分

水野尾コミュニティ

●8月18日(水) 13時～14時 消防センター

●8月18日(水) 13時～14時

福井保健協力員宅

●8月23日(月) 10時～14時

コミュニティセンター栄

●8月23日(月) 10時30分～12時

戸沢公民館

●8月23日(月) 12時30分～13時30分

坂ノ上集会所

保健センターでの

成人の相談日

●8月11日(水)

10時～12時・13時～15時

市働く婦人の家・保健センター

体験してみませんか

ウォークスイミング

水中運動で楽しい健康づくり

水の中を歩く、水の中で身体を動かすことを主体にした教室です。

「なにか運動した方がいいかな?」

とお考えのあなた、健康づくりの

第一歩として体験してみませんか。

●8月20日(金) 9時～12時

サンフィッシュスポーツクラブ

五所川原

◇対象者

40歳以上で、基本健診(平成11

年4月)等を受けた結果、特

に異常を認められなかった方

・昨年この教室に参加された方

◇内容

ウォークスイミング体験

・みなさんと保健婦でつくるグル

「ブワーク」自分にあつた運動

と健康づくり」等

◇定員 30名(参加費 無料)

◇申込方法 電話受付

◇申込締切 8月16日(月)

◇その他 血圧等で病気療養中の

方は、主治医に確認のうえお申

し込みください。

みんなの健康教室

●8月27日(金) 13時～14時

市働く婦人の家・保健センター

3階ホール

◇テーマ 「糖尿病のはなし」

◇講師 佐藤内科小児科医院

◇主催 佐藤實先生

北五医師会・市民保健協

議会

かんたん!

健康レストラン開催

「糖尿病予防」

「しっかり食べて快適な体重をめざす食事

」

●8月27日(金) 9時30分～12時30分

市働く婦人の家・保健センター

2階調理室 第1講習室

◇申込締切 8月20日(金)

◇募集人員 30名(先着順)

◇申込方法 電話受付

◇持参するもの ごはん、エプロン、健康手帳(お持ちの方)、

塩分測定を希望される方は、み

そ汁(小瓶に入れて)と漬け物

(2～3切れ)

◇参加費 無料

◇担当 保健婦 栄養士

献血のご案内

●8月12日(木) 10時～16時

日立北海セミコンダクタ

株式会社津軽工場

五所川原市立

図書館からあれこれ

開けゴマ

「共通利用券」というものをご存じですか?ご存じの方は図書館通。ご存じでない方の為に説明いたします。

五所川原市民が、他市町村の図書館から貸し出しを受け

るために使います。「共通利用券」を持っていれば、その

市民でなくとも貸出券が作れます。今できたての中里町

や鱈ヶ沢町の図書館からも本

を借りられるわけです。いわ

ば宝蔵の鍵。当館では中学生

以上の方に発行しております。

よそに行つてから「しまつた」と思わないように、券を作つてから他館へお出かけください。

感動を地域に、全国に伝えたい

立佞武多にかける夢



ねぶた運行責任者 木村隆さん

今回の夏まつり「五所川原立佞武多一火と虫の祭典」で、ねぶた運行の責任者として隊列を先導する木村隆さんを紹介します。

「立佞武多に関わったのは平成8年の復元から。去年は運行の警備係として参加しました」という木村さんは、「安全をまず第一に考えます。その上で観光客へのマナーを徹底したい。また来てもらうためにはイメージが大切ですから」と運行への意欲と苦心を話してくれました。

また、「立佞武多は起爆剤」という木村さんは運行だけではなく、地域の活性化にも積極的に活動しています。「去年の運行では、今までにない人波に興奮しました。けれど興奮だけではだめ、この盛り上がりを利用することが大事」という木村さん自身、去年は携帯電話のストラップ、今年はキーホルダーを製作しました。「全国から来る人に思い出の品を持たせるために、なによりも市の活性化のために、みんながこのチャンスを生かしてほしい。勇気をもって前進しましょう」と語ります。

「県外へ行って、五所川原の話になると決まって立佞武多のこと。おらほのねぶたとしていつも自慢しています」という木村さんの夢は、町内の人達も立佞武多を製作・運行してくれること。「巨大ねぶたでなくてもいい。大小の立佞武多が運行されれば、今以上に盛り上がり、感動を与えてくれるはず。五所川原には感動がある、そのことが若者達の定着・Uターンや活性化になる」と語ってくれました。

いよいよ夏まつり。皆さんもぜひ参加して五所川原人魂を熱く焦がし、まつりを盛り上げましょう。立佞武多と皆さんの心が相乗したときにこそ、感動が、歓喜が生まれます。

あなたも
作ってみませんか

No.53

テーマ

エコ・

クッキング

料理紹介

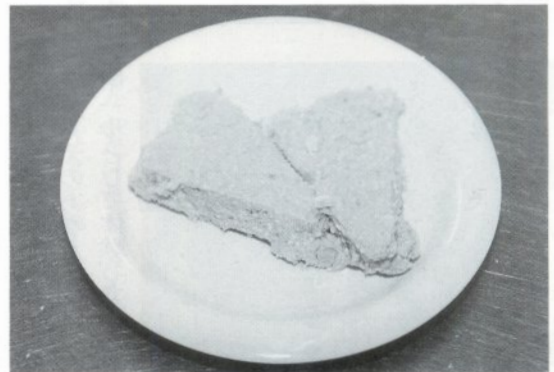
五所川原市食生活改善推進員会

びっくりバナーフケーキ

材料 (6人分)

豆腐(木綿) 1/2丁
 バナナ 200g(1/2~2本)
 砂糖 大さじ2
 ゼラチン 10g
 水 50cc
 レモン汁 大さじ2
 クラッカー 75g
 マーガリン 40g

レアチーズケーキの様なおいしさで、中身は豆腐とバナナ。高栄養で消化吸収がよく、腸の働きも整えてくれます。夏ばて防止に栄養補給のできるこんなデザートはいかがですか。



作り方

- ①クラッカーを砕いて、湯煎したマーガリンを入れて混ぜ、器の下に敷き詰めて冷蔵庫で冷やし固める。
- ②水にゼラチンを振り入れて、ふやして溶かす。
- ③ミキサーにバナナとレモン汁を入れて、細かくする。
- ④豆腐を手でちぎり、ミキサーに入れる。
- ⑤砂糖とゼラチンを④に入れて、よく混ぜる。
- ⑥①に⑤を流し入れ、冷蔵庫で冷やし固める。

救急医療当番医

月/日	曜日	医療機関名	医療機関所在地	電話
8/1	日	(医) 正幸会 対馬内科小児科医院	五所川原市字田町4-5	34-3431
8/8	日	(医) 佑生会 佐藤内科小児科医院	五所川原市字弥生町4-2	35-4155
8/15	日	櫛引クリニック	五所川原市字鎌谷町75-1	33-1155

※注 1. 対応時間 9:00~17:00(電話で確認してから)。
2. その他、消防署(救急医院案内 ☎34-4999)で紹介いたします。

はつらつ女性課 内線237